



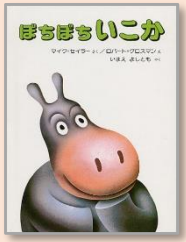
速報！～本学の学生5人が「産経新聞ビブリオエッセイ」に入選しました！～

昨年度の保育内容演習（言葉と文化）（近藤真理子先生）の授業内で2年生が「書評（ビブリオエッセイ）」に取り組み、幼児保育学科の学生が産経新聞主催「ビブリオエッセイ」に入選しました。入選作品は産経新聞夕刊の「私の一冊 ビブリオエッセイ」に掲載されます。

入選された学生（2023年春卒業）の皆さん

- 比護 陽香 さん「なんにもできなかったとり」 刃根里衣
- 竹口 馨 さん「りゆうがあります」 ヨシタケシンスケ
- 下津佐 育代 さん「生きる」 谷川 俊太郎
- 伊藤 樹里香 さん「ぼちぼちいこか」 マイク・セイラー
- 川北 遥さん「じぶんだけのいろ」 レオ=レオニ

2022年度卒業生（2人入賞）に引き続いての快挙！おめでとうございます！
上記5冊は図書館正面に展示しています。ぜひ読んでみてください。



近藤真理子先生からひとこと

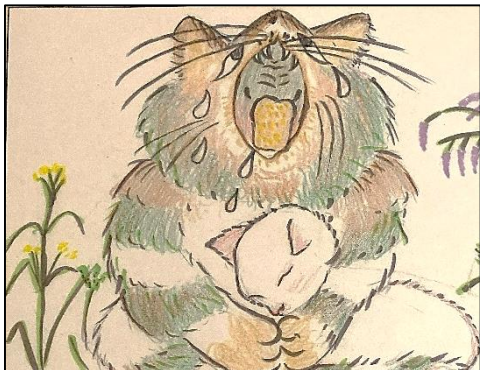
「言葉と文化」「幼児と言葉」の講義、演習では、保育者として言葉の質を高めるため、そして、ただ保育内容として絵本を扱うのではなく、絵本の内容や活用する場面を考えられるよう、数々の絵本に触れています。

こわい本ってどんな本？こわいってどんなこと？この本は子ども一人で読んでほしい本？みんなで読む？この本の中でどのページがお気に入り？など、絵本を様々な角度から読み、自分の言葉で書くこと、つたえることに力を入れています。好きな本を紹介し合ったりしながら、様々な本に出会っています。ビブリオエッセイは、絵本を自分の生活や経験にひきつけて考え、執筆しています。昨年以上の秀作が集まりました。単なる感想文ではなく、皆さんの生活や、気持ち、嬉しかったこと、気になることに絡めて書いてくださっていて、とても面白い作品になりました。

私の好きな絵本 ～新入生の作品から、ご紹介します～

私が一番好きな『100万回いきたねこ』は、100万回に100万回生きた猫のお話です。特に、一番好きな場面は、今まで1回も泣いたことのない主人公のねこが、唯一自分よりも好きになったねこが亡くなり二度と生き返らなくなった所です。今まで愛を知らなかったねこが愛というものを知り、そして、100万回も生きたのは、自らの愛を知るためだと思いました。誰かを思う気持ちの大切さを心の底に届けてくれる絵本です。（清水佑佳）

『100万回いきたねこ』講談社
作・絵 佐野洋子



この本を選んだ理由は、前向きな気持ちにさせてくれるから。何かをやらなくてはならないというよりも、好きだから何かをするの方が良いし、この本を読むと、好きなことをすると誰かが喜んでくれるという、自分も相手も幸せな気持ちになるから素敵なお話だと思うし、子供から大人まで見れるから、たくさんの人が見て、どんどん好きな事を見つけてほしい。（城本 結衣）

『なにしているの？』ポプラ社
作・絵 鈴木 まもる



日本の伝統文化発信⑫ ちょっと教養のコーナー ～本学所蔵の貴重図書より～

新吉原江戸町二丁目稲本楼美人名女揃

紙本著作 三枚綴（1紙縦37×横25）

歌川国貞（2代）

慶応4年（1865）

この浮世絵は、新吉原にあった稲本楼の女性を描いた浮世絵です。女性には若柳・薄衣・小稲・井筒・花鳥・相生といった源氏名が記されています。左端の女性、濃糸は右手にはさみを持ち、左手に杜若を持ち、いけばなの準備をしているのでしょうか。ただし、花器は描かれていません。また中央の右端には取手のついた蒔絵の箱に香をたく道具が見えます。背景の建物は遠近法が使われています。

この浮世絵の絵師は、梅蝶楼国貞と画中にみえますが、これは2代歌川国貞（嘉永5年(1852)頃～明治3年(1870)頃）のことで、香蝶楼、梅蝶楼という号も持っていました。また、2代歌川国政、4代歌川豊国とも名のりしました。彼は3代豊国（初代国貞）の門人で、嘉永5年ごろ3代豊国（初代国貞）の娘婿になりました。（華道文化研究所）



図書館からのお知らせ



新入生のみなさん、学校には慣れましたか？図書館にはもう足を運んでいただけましたか。

先日本を借りる時、「学生証を忘れてしまいました…(絶望)」という方がいましたが、スマホでバーコードを提示すると貸出が出来ます！学生証を忘れた時でもスマホがあれば貸出できますので、カウンターに申し出てくださいね。

し、しうなかったにゃ…
ごあんないがたいぞ、
ごめんなさいにゃ！



「私の好きな本」の記事募集中！掲載された方には図書館から粗品を進呈します。



図書の検索は便利なQRコードも利用できます。
資料の検索にご利用ください。